第２回小中学校のあり方を考えるワークショップを開催しました

1 月 20 日（土）に、第 2 回小中学校のあり方を考えるワークショップを開催しました。

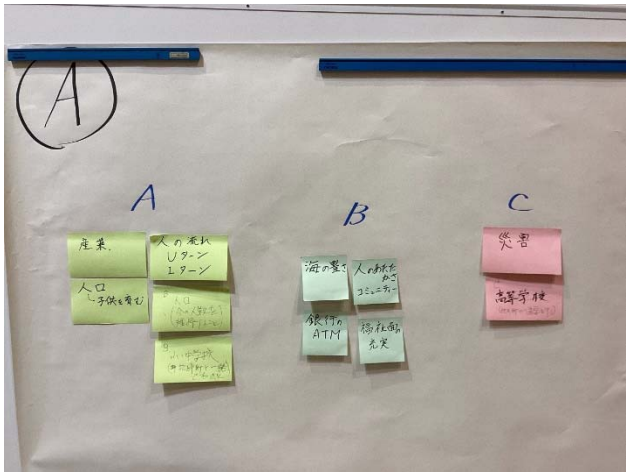
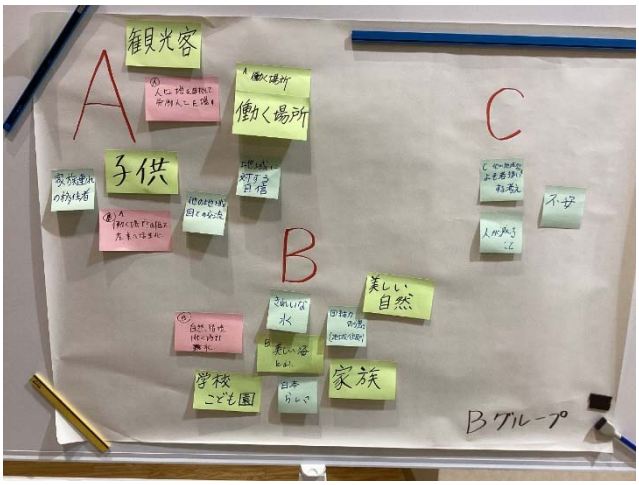
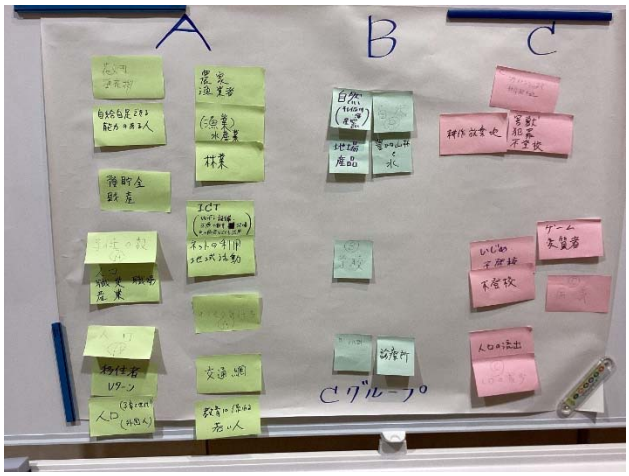
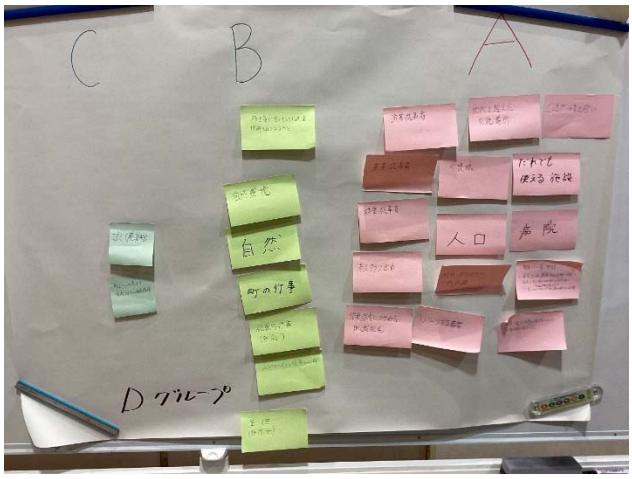
前回で「人口減少と教育について専門家の意見を伺いたい」という意見が出されたことから、第 2 回では、国立社会保障・人口問題研究所研究員の佐々木織恵さんを講師に迎え、「小規模自治体における学校再編-川根本町の事例から学ぶ-」という講演を聞きました。

講演では、実際に川根本町で学校再編に関わっていた経験から、

「どのような学校をつくっていきたいのかというビジョンを明確化し、人口減少対策としての「義務教育学校」でなく、川根本町の良さを生かした教育内容を教員が主体的に考え、子どもや地域住民などの関係者と議論を積み重ねてきました。」と述べていました。また、締めくくりに「西伊豆町は、2050 年にどのような町になっていたいですか？そのために学校にはどのような役割を期待しますか？」と問いかけていました。

その後、西伊豆町の【教育の未来】についてワークを行いました。「10年後の町に増えていてほしいもの」「10年後の町に変わらずにあってほしいもの」「10年後の町に減っていてほしいもの」をグループごとに書き出しました。

各班の意見は次のとおりです。

	10年後の町に増えていてほしいもの	10年後の町に変わらずにあってほしいもの	10年後の町に減っていてほしいもの
A 班	産業 人口 人の流れ（IU ターン） 小中学校	福祉面の充実 銀行の ATM 海の豊かさ 人の温かさ・コミュニティ	災害 高等学校
B 班	観光客 働く場所 人口・こども 家族連れの移住者 地域に対する自信 産業の活性化 他地域との交流	自然環境（美しい海山） 学校・こども園 働く場所 団結力の強さ	移住者をよそ者扱いする考え 不安 人口の流出
C 班	農家・漁業者 人口・移住者（U ターン） 産業（農業・林業・漁業） 働く場所 学校でのネット環境 教育に関わる若い人	自然 豊かな山林と水 地場産品 学校・診療所 文化財	害獣 犯罪・変質者 いじめ・不登校・ゲーム 農作放棄地 人口の流出 病気

D 班 E 班	人口（U ターン・若者） 産業従事者 病院 誰でも使える施設 地域の交流場所	郷土愛 自然・自然環境 町の行事・伝統行事 耕作地	ごみ（廃棄物）